

えもんみっけ!

～市民レポーターのページ～

市民レポーターの皆さんが、市内のさまざまな場所に出かけて、市民ならではの視点から小牧の魅力や身近な話題について取材した様子を、毎月15日号で紹介していくコーナーです!



REPORT 154

「みやもっちゃん」こと宮本忠博さんは、小牧出身・小牧在住のタレント。数々のテレビやラジオに出演しています。そんな宮本さんにいろいろな話を聞いてきました。

小学3年生の時、名古屋から家族で小牧に引越してきました。本庄小学校第1回卒業生。小学3、4、5年は味岡小学校に通う。味岡中学校、小牧工業高校、中部工業大学（現中部大学）を卒業しました。本庄小学校では、初代児童会会長を務めたそうです。



明るくパワフルで元気をもらいます

小牧を愛するタレント・みやもっちゃん!

大学2年生の時、今だからやってみよう!と、プロダクションに所属し、タレントとしての活動を始めました。

大学4年の時には、岐阜ラジオの深夜番組のレギュラーDJに大抜擢。名古屋を代表するタレントになるべく、駒をすすめることになりました。

その後は「名古屋発そこが知りたい」、「ミックスバイください」、「ぴーかんテレビ」、「ユーガッタ! CBC」などの人気テレビ番組や数々のCMに出演し、『みやもっちゃん』と言え知らない人はいないほど人気タレントに……。こんなに有名になった



街中で開催された「ぶらりマルシェin小牧」での様子。

にもかかわらず「地元・小牧に軸足を置いておきたいと思ったから」と、ずっと小牧に住んでいます。現在は、テレビ、イベントの司会などタレント活動の他、タレントの講師や講演会など幅広く活躍しています。

地元を盛り上げてます

本厄の時、お世話になった田縣神社の豊年祭。以後、何かできないかと考え、級友らと共に始めた豊年祭当日の警備に毎年続けて参加。小牧の街中を盛り上げようと企画された「ぶらりマルシェ」では、3年前から司会を引き受け、楽しみながら盛り上げてきました。

「ちようどよい」魅力

小牧って「ちようどよい!」という言葉がぴつ



田縣神社の豊年祭当日の写真。地元の仲間の皆と記念撮影です。

たり」と話す宮本さん。とてもありふれた言葉のようだけれど、生まれて育って、学んで、働いて、住んで……と、小牧で一生過ごすことができ、どのシーンでも「ちようどよい!」快適さや魅力があるそうです。

小牧には小牧山をはじめ魅力的なものがたくさんあり、それを小牧で育ってきた皆が発信して、活力のある街にしていかなければならないし、皆が、小牧に住んで楽しい! と思えるようにならなきゃいけない。と、小牧を語る宮本さんの熱い思いが伝わってきました。

編集後記



ちよこちゃん

本当に楽しい取材でした。人を引きつける魅力があるんですね、やっぱり。春日井の広報大使を務めているのですが、小牧でももっと活躍してほしいですね!

今回の取材先

宮本忠博さん

TEL: <http://www.tbglobal.ne.jp/>
miyamoto.tadahiro/

大麦若葉の山本漢方… このCM知っていますよね!



山本漢方の大麦若葉青汁
CM公開中

1977年創業の山本漢方製薬。最近ではCMのインパクトから知名度もぐっと上がっているのですが、本社が小牧にあるって知っていましたか。小牧の自慢になってほしくて、山本整社長に話を聞きました。



山本漢方製薬のルーツは、名古屋・鶴舞にある「本草閣」。180年以上もの歴史を誇る漢方薬局が実家です。漢方薬やお茶の製造について知り尽くしていた現社長の父が40年前、会社を立ち上げました。

現在は、一般用医薬品

徹底した品質管理

青汁カテゴリー市場で11年連続売上ナンバー1を

40種類、健康食品183種類を取り揃えていて、「より良いものを、より安く」と、すべて自社で製造しています。



見たことある商品がいっぱい!

獲得する看板商品は、「大麦若葉粉末」。原材料の大麦若葉は、イタリア、ニュージーランド、中国の契約農場で大切に育てられています。土に近い茎(根元)ほど栄養や旨みがあるので、機械を使わず、人の手で刈り取り、二番茶、三番茶のように再び成長した古い葉を使うことはしません(雑味が出て美味しくないそうです)。刈り取った後、生育の良くないモノ、穂が出たモノなどを取り除くなどの作業をして乾燥、粉砕、梱包と、商品になるまで独自の製法で徹底的にこだわって作られます。すべて自

顧客を大切に…

社でコントロールしているの、安心・安全な商品が消費者に届けられます。

すべての商品の箱の中には、おすすめ商品のサンプル、ポイント券がついたパンフレットが入っています。10ポイント貯めて応募すると同社の好きな商品がもらえるそうです。「お客さんには続けて購入してもらいたいし、いろいろな意見や要望にもしっかりと耳を傾けたい」と、消費者とのつながりを大切にしています。1日に1000通ほどのハガキが届き、スタッフが手作業で対応しています。最近では、SNSのプレゼント企画にも力を入れています。



社長の山本整さん。社員の皆さんともフランクに話す様子が印象的。

今回の取材先



山本漢方製薬

多気東町 157
☎ 77-2211
HP: www.kanpo-yamamoto.com

編集後記



いつもドラッグストアでよく見かける商品達。品質に対する熱い思いを聞いて、すごく納得しました。健康のために取り入れる商品だからこそ、誠実な思いが伝わるんだろうな。私もさっそく青汁生活始めるぞ。



看板商品。薬局、ネットで購入できますよ。